

## 口頭発表プログラム 3月17日

時間	座長	2. 造成・管理・栽培	
13:00	未定	201	土壤凍結地帯における採草多刈刈がオーチャードグラスの生産性およびアルファルファ被度に与える影響 ○中村直樹1・松本武彦2・田中常喜1 (1道総研酪農試・2秋田県大生物資源科学)
13:15		202	ペレニアルライグラス「ポコロ」と早晚性の異なるオーチャードグラスによる混播草地の生産性と草種構成 ○岡元英樹1・有田敬俊2・二門 世1 (1道総研酪農試天北支場・2道総研酪農試)
13:30		203	夏作の耕起と播種を行わないライグラスとメヒシバ二毛作栽培 ○池田堅太郎・後藤慎吉・荒川 明 (農研九沖)
13:45	休憩		
14:00	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	
14:15	未定	401	南九州における飼料用ダイズの家畜の選好性 ○中原貴之・石垣元気 (宮崎大農)
14:30		402	Cowpea silage replacing dietary concentrate in goats fed basal Guinea grass: digestibility, nitrogen utilization, ruminal fermentation, and blood profile ○Armess Prince Gynth Sossou・Masato Yayota (UGSAS Gifu University)
14:45		403	オーチャードグラス1番草サイレージを用いて調製したTMRの産乳成績 ○花田正明・稲川桃花・小野塚詩織・川村健介・藤倉雄司 (帯広畜大)
14:45	休憩		
15:00	未定	404	イタリアンライグラス「Kyushu1」とエンバク「スナイパー」の混播が、冬季収穫草の発酵品質に与える影響 ○森 欣順1・荒川 明1・加藤直樹2・金子 真1・河内大介1・高井智之1・細田謙次1 (1農研九沖・2元農研九沖)
15:15		405	低温下で増殖する乳酸菌ベディオコッカス・イノピナタスを用いたイネホルクroppサイレージの発酵特性と二次発酵抑制効果 ○谷口大樹1・山根瑞穂2・福馬敬敏2・小林寿美3・御園里冬美1・阿部健太郎1・河野幸雄2・遠野雅徳3 (1雪印種苗・2広島畜技セ・3農研畜産)
口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。 時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。			

## 口頭発表プログラム 3月17日

時間	座長	優秀若手発表賞発表	
15:45	未定	Y01	林内放牧におけるウシの選択採食の評価：フィーディングステーション単位での植生—採食行動の重ね合わせ ○内野明依・小倉振一郎（東北大院農）
16:00		Y02	泌乳牛放牧飼養下における春季の放牧強度が夏季以降の牧草再生および乳生産に及ぼす影響 ○奥村真央1・門馬嵩洋1・呉成真1・三谷朋弘1・河合正人2・上田宏一郎1（1北大院農・2北大FSC）
16:15	休憩		
16:30	未定	Y03	「咲かない飼料イネ」の作出およびWCS用品種としての有用性 ○宮崎虹輔・西出典子・橋本舜平・森田隆太郎・青木直大・井澤毅（東京大院農）
16:45		Y04	四倍体フェストロリウム ( <i>Festulolium</i> spp.) 集団を用いた越夏能力についてのゲノムワイド関連解析 ○山口貴史1・田村健一1・山本英司2（1農研畜産・2農研作物）
<p>口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。 時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。</p>			

## 口頭発表プログラム 3月19日

時間	座長	2. 造成・管理・栽培		時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	
9:00	未定	204	イネ発酵粗飼料専用品種「つきあやか」の追肥時期が穂重割合に及ぼす影響 ○関 誠・小橋有里（全酪連酪技研）	9:00	未定	406	内袋の利用がフレコンバックで常温保管するトウモロコシ子実の品質に及ぼす影響 ○佐々木怜樹・浅沼未歩・小林花音・松山裕城・堀口健一・浦川修司（山形大農）
9:15		205	秋田県におけるイタリアンライグラスをリビングマルチとした飼料用ダイズ栽培技術の実証 ○由利奈美江（秋田畜試）	9:15		407	ライムギの内因性フィターゼ活性の品種間差異とライムギ子実の養鶏用飼料としての評価 ○今井裕理子1・奈良井沙紀2・春日重光1（1信州大農・2信州大院農）
9:30		206	パヒアグラス草地へダイズ追播による乾物収量および粗タンパク質含量への効果 ○金子 真1・後藤慎吉1・林 征幸2・加藤直樹3・松岡 誠1（1農研九州・2農研本部・3農林水産省）	9:30	休憩		
9:45	休憩			9:45	座長	1. 草地生態・システム分析 ・緑地環境	
					未定	101	地球観測衛星（Sentinel-2）を用いた高速道路法面草地の緑化工事前後の植生モニタリング ○西脇亜也1・横田 漢2・児玉寛太郎2・清松秀生2・加藤善勝2（1宮崎大農・2グリーンイノベーション宮崎）
10:00		207	早晚性の異なるトウモロコシ品種の群落高の予測 ○藤竿和彦・出口 新（農研東北）	10:00		102	ドローン空撮画像を用いた物体認識深層学習モデルによる馬及び馬糞の検出方法の検討 ○西脇亜也・藤野賢志（宮崎大農）
10:15	未定	208	東西南部における飼料用トウモロコシ二期作栽培への挑戦 ○小橋有里1・関 誠1・松尾守展2・住田憲俊2・阿部佳之2（1全酪連酪技研・2農研畜産）	10:15	休憩		
10:30		209	暖地水田転作畑における窒素施肥方法とトウモロコシ根腐病個体率との関係 ○伊東栄作（農研九沖）	10:30	未定	103	川渡ススキ草地における長期草地動態調査：42年間の変化 ○小倉振一郎1・板野志郎2・下田勝久3・山本嘉人3（1東北大院農・2新潟大農・3農研畜産）
10:45		210	飼料用トウモロコシ栽培におけるアトラジン・S-メトラクロールおよびトブラメゾンを用いたワルナスビの防除法 ○内野 宙1・赤松佑紀1・佐々木 梢1・須永義人1・菅野 勉2（1農研畜産・2農研西日本）	10:45		104	能登半島地震による牧草地の液状化現象と牧草生産に関する研究 ○浅野桂吾1・富井水萌1・友田和沙1・堀 晃宏2・橋谷田 豊1（1石川県大生物資源・2石川県大農場）
11:00			11:00	105	ノイバラ類の切断片からの再生能力：シバ植被面における評価 ○柿原秀俊・堤 道生・平野 清・渡辺也恭（農研西日本）		

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクトが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

## 口頭発表プログラム 3月19日

時間	座長	3. 放牧・家畜管理・行動	
9:00	未定	301	ウシの首上部と下部に配置したGPS端末の測位精度および無線基地局への通信成功回数の比較 ○胡日晝・柿原秀俊・平野 清・渡辺也恭（農研西日本）
9:15		302	ウシ装着型集畜デバイスの試作と集畜作業時間の削減 ○進藤和政（農研畜産）
9:30		303	選別・分離ゲートによる放牧地での牛の分離 ○北川美弥1・喜田環樹1・中村春男2・萱森好二2・宮脇 豊2（1農研畜産・2サージミヤワキ）
9:45	休憩		
10:00	座長	6. 育種	
	未定	601	いもち病抵抗性イタリアンライグラスと超極早生エンバクの夏播き混播栽培における粗蛋白質および可消化養分総量の収量 ○荒川 明・上床修弘・高井智之（農研九沖）
10:15		602	strigosaエンバク新品種の異なる播種期条件に対する乾物収量および農業特性の応答 ○上床修弘1・荒川 明2・高井智之2・桂 真昭2（1農研作物・2農研九沖）
10:30		603	チモシーにおける初期生育性の間接選抜後代の生育特性 ○飯田憲司1・高島聡史1・鈴木美玲1・足利和紀2（1道総研北見農試・2道総研畜試）
10:45		604	飼料作物・芝類の突然変異育種 ○中川 仁（元農業生物資源研究所放射線育種場）

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。  
時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。